

## 次世代のクリエイターを LEXUS が育成・支援するデザインコンペ LEXUS DESIGN AWARD 2018 のグランプリ受賞者を発表

LEXUS は、今年で第 6 回を迎える次世代を担うクリエイターを育成・支援する国際デザインコンペティション「LEXUS DESIGN AWARD 2018」において、“CO- (共) “\*1 をテーマに制作された作品の中から、グループユニット Extrapolation Factory の「Testing Hypotheticals」をグランプリに決定しました。

「Testing Hypotheticals」は、その他の入賞 11 作品とともに、世界最大のデザインエキシビション「ミラノデザインウィーク<sup>2)</sup>」で LEXUS が出展する「LIMITLESS CO-EXISTENCE」において展示されます。世界 68 カ国から、日本国内 173 作品を含め過去最高となる 1,319 点の応募があり、審査は世界で活躍する著名なクリエイターで構成された審査員により行われました。

また、今回からファイナリストの才能の豊かさにより焦点を当て、国際的な関心を高めるために、「LEXUS DESIGN AWARD 2018 ピープルズ・チョイス (People's Choice) 賞」を新たに創設しました。受賞者は、4月16日(月)～21日の期間に行われるオンライン投票で一般参加者により選出され、下記 URL にて4月23日(日)に発表されます。

また、LEXUS DESIGN AWARD ウェブサイトにて4月27日(金)には、LEXUS DESIGN AWARD 2018 を振り返るスペシャルムービーが公開されます。

オンライン投票 URL : [www.lexusdesignaward.com](http://www.lexusdesignaward.com)

LEXUS DESIGN AWARD ウェブサイト : [https://lexus.jp/brand/lexus-design/design\\_award/](https://lexus.jp/brand/lexus-design/design_award/)



審査員の一人であるデイビットアジャイ氏は「今年のグランプリ受賞者は、技術革新によって変化しつつある社会において、デザインが担う役割をしっかりと捉えています。昨今では、プロダクトそのものよりも、デザインやその哲学といったものが大きな役割を果たすようになって来ました。よりよいデザインを生み出すためには、デザイナーがプロダクトやプロセス・未来との関わり方をしっかりと見据える必要があります。今回選ばれた作品は、社会において将来起こりうる様々な課題に対し、どう対応するかという点で、素晴らしい可能性を提示しています。」とコメントしました。

また、グランプリを獲得した Extrapolation Factory の二人は、「私たちのメンター、Formafantasma の二人とともに今回のプロジェクトに取り組めたことが、本当に素晴らしい経験でした。そして LEXUS のサポートなくしては決して成し得なかったと思っています。」と感想を述べました。

## ■ 「LIMITLESS CO-EXISTENCE」概要

LEXUS のインスタレーション「LIMITLESS CO-EXISTENCE」は、スペースデザイナーとして建築家の市川創太氏を起用し、レオナルド・ダ・ヴィンチ記念国立科学技術博物館の一角、カヴァッレリッツェ（Cavallerizze）において開催されます。市川氏が手掛けるメイン・インスタレーションでは、アルゴリズムによる緻密な設計で天井から吊るされた無数の糸に、たった一点の光源から、一つの影も作ることなく光を当てることで、完全なる共存の状態（=LIMITLESS CO-EXISTENCE）を表現しました。それぞれが自分の世界の中心であり続けながら「共存（CO-exist）」できるという理想の世界をデザインの力により具現化しています。

また、新進気鋭のシェフ3人によって構成され、主にケータリングフードを提供するミラノの著名なフードコーディネーター「ALTATTO」と市川氏のコラボレーションによるフードを提供。他の風味と調和しながら一体化する力を持つ、“CO-“を象徴するかのような香りのベルガモットを用いてユニークな味覚体験を創造します。

さらに、デトロイトモーターショー<sup>\*3</sup>で発表された、革新的な SUV コンセプトカー「LEXUS LF-1 Limitless」も展示。独自の技術による展示で、進化する LEXUS デザインの可能性を提示します。

あわせて、グランプリ受賞者 Extrapolation Factory を含む LEXUS DESIGN AWARD 2018 のファイナリスト 12 名による、4 点のプロトタイプおよび、8 点のプレゼンテーションパネルも展示します。

イベント詳細に関しては、下記をご参照ください

LEXUS DESIGN EVENT 特設サイト [https://lexus.jp/brand/lexus-design/design\\_events/](https://lexus.jp/brand/lexus-design/design_events/)  
公式ハッシュタグ #LexusDesignAward、#LexusDesignEvent

\*1：LEXUS DESIGN AWARD 2018 の作品テーマ。CO-とは複数の要素を融合させ、その相乗効果により、既成概念や限界を越えて新しい価値を生み出す LEXUS の思想。CO-ordination や CO-llaboration、CO-exisitance 等の言葉につながる CO-をテーマに、デザインを募集した。

\*2：イタリア・ミラノで行われる世界最大のデザインエキシビション。家具メーカーやファッションブランドが独自性をアピールする様々なイベントを開催。ミラノサローネとも呼ばれる。2015年のインスタレーション「LEXUS - A JOURNEY OF THE SENSES」は、公式コンペティション「Milano Design Award Competition」において、「Best Entertaining 賞」を自動車会社として初めて受賞するなど高い評価を受けた。



\*3：正式名称は「North American International Auto Show 2018」

## LEXUS DESIGN AWARD 2018 プロトタイプ制作作品

	<b>作品名</b>	<b>CO-RKs</b>
	デザイナー (国籍)	グループ名：DIGITALAB ブリメット・フェルナンデス・ダ・シルヴァ (ポルトガル) アナ・トリンダーチ・フォンセカ (ポルトガル)
	<b>居住国</b>	ポルトガル
	<b>作品概要</b>	サステナブルな素材であるコルク糸と計算アルゴリズムを応用した新しいシステムから創りだすインテリア
	<b>メンター</b>	リンゼイ・アデルマン
	<b>作品名</b>	<b>Honest Egg</b>
	デザイナー (国籍)	グループ名：aesthetid ポール・ヨン・リット・ファイ (マレーシア) ジャイハール・ジャイラニ・ビン・イスマイル (マレーシア)
	<b>居住国</b>	マレーシア
	<b>作品概要</b>	食品廃棄を背景に、最先端インクとデザインを用いた賞味期限切れを示す卵
	<b>メンター</b>	ジェシカ・ウォルシュ
	<b>作品名</b>	<b>Recycled Fiber Planter</b>
	デザイナー (国籍)	横井 絵里子 (日本)
	<b>居住国</b>	日本
	<b>作品概要</b>	古着の繊維を再利用し植物と共生させたプランター
	<b>メンター</b>	藤本壮介
	<b>作品名</b>	<b>Testing Hypotheticals</b>
	デザイナー (国籍)	グループ名：Extrapolation Factory クリストファー・ウォブケン (ドイツ) エリオット・P・モンゴメリー (アメリカ)
	<b>居住国</b>	アメリカ
	<b>作品概要</b>	社会、テクノロジー、環境のあいだの投機的な関係を調査するテストサイト
	<b>メンター</b>	フォルマファンタズマ

## LEXUS DESIGN AWARD 2018 パネル展示作品

	<b>作品名</b> <b>CO-Living</b>
<b>デザイナー (国籍)</b>	グループ名： Khoa Vu and Wilson Harkhono コア・ヴェ (ベトナム)、ウィルソン・ハーコーノ (インドネシア)
<b>居住国</b>	アメリカ
<b>作品概要</b>	人々に“CO-”をインスパイアさせる新しい住宅システム
	<b>作品名</b> <b>COmer</b>
<b>デザイナー (国籍)</b>	グループ名： Sistema Simple Studio カレブ・カルデナス・サヴァラ (メキシコ)、ルーカス・マルゴッタ・メネーセス (チリ)、ディエゴ・ガハルド・カルデラ (チリ)、カルロス・スフィア・ヴォッテロー (チリ)
<b>居住国</b>	チリ
<b>作品概要</b>	パンの調理から、シェアし、食べるプロセスを一元化した粘土容器のセット
	<b>作品名</b> <b>Fabric Block</b>
<b>デザイナー (国籍)</b>	ミョン・ダク・チャン (韓国)
<b>居住国</b>	韓国
<b>作品概要</b>	利便性と芸術性を兼ね備えた、フレキシブルなブロック
	<b>作品名</b> <b>GRABBY</b>
<b>デザイナー (国籍)</b>	グループ名： IDEAL ナデジュダ・アブドゥリナ (ロシア)、マリーナ・エゴロワ (ロシア)
<b>居住国</b>	ロシア
<b>作品概要</b>	硬さと柔らかさが共存した、片手で野菜が切れるまな板
	<b>作品名</b> <b>Gravity Pen</b>
<b>デザイナー (国籍)</b>	ジョン・シモンズ (アメリカ)
<b>居住国</b>	アメリカ
<b>作品概要</b>	重さや触覚をシミュレートすることによって、仮想現実 (VR) と身体的体験をつなぐツール
	<b>作品名</b> <b>PAPER SKIN</b>
<b>デザイナー (国籍)</b>	古川 礼規 (日本)
<b>居住国</b>	日本
<b>作品概要</b>	重なり合った紙の層をつないだ、色彩豊かな新しいストラクチャー

	作品名	<b>Primavera</b>
	デザイナー（国籍）	ヤエル・リボー（イスラエル）
	居住国	イスラエル
	作品概要	想像力を喚起する、ベニアと接着布を組み合わせたユニークなアームチェア
	作品名	<b>VNWALLS GARDEN</b>
	デザイナー（国籍）	グループ名： VNWALLS プオック・ティアン・グエン（ベトナム）、トゥアン・アン・ファン（ベトナム）、 フォー・ノック・チュオン（ベトナム）
	居住国	ベトナム
	作品概要	現代的な農業と畜産の手法に貢献する、エアロポニック式*の植栽機

\*：土を使わず、最低限の水と液体肥料をスプレー噴射して植物を栽培する方法

## ■ 審査員/メンタープロフィール

### 審査員:



#### デイヴィッド・アジャイ (David Adjaye) / 建築家

建築材の独創的な使用や高度な彫刻能力を活かし、芸術家としての感性とビジョンに富んだ建築家として高く評価されている。2000年に自身の事務所アジャイ・アソシエイツを設立。同氏が手がけたプロジェクトの中で5億4000万ドルと最大の規模を誇るスミソニアン協会国立アフリカ系米国人歴史文化博物館は、2016年秋にワシントンD.C.のナショナル・モールにオープンし、カルチャー・イベント・オブ・イヤーとしてニューヨーク・タイムズにも掲載された。2017年には、エリザベス2世によって大英帝国勲爵士(ナイト)に叙任され、TIME誌の「2017年、世界で最も影響力のある100人」のひとりとして紹介された。



#### 坂 茂 (Shigeru Ban) / 建築家

1984年クーパー・ユニオン建築学部(ニューヨーク)を卒業。1985年、坂茂建築設計を設立。1995年から国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)コンサルタント、同時に災害支援活動団体 ボランティア・アーキテクト・ネットワーク(VAN)設立。主な作品に、「ポンピドー・センター・メス」、「大分県立美術館」などがある。これまでに、フランス建築アカデミー ゴールドメダル(2004)、日本建築学会賞作品部門(2009)、フランス国家功労勲章オフィシエ(2010)、オーギュスト・ペレ賞(2011)、芸術選奨文化科学大臣賞(2012)、フランス芸術文化勲章コマンドゥール(2014)、プリツカー建築賞(2014)、JIA日本建築大賞(2016)など数々の賞を受賞。2015年9月より慶応義塾大学環境情報学部特別招聘教授に着任。



#### パオラ・アントネッリ (Paola Antonelli) / MoMA ディレクター・シニアキュレーター

1994年よりニューヨーク近代美術館(MoMA)勤務。現在、研究開発部門責任者であると同時に、建築、デザイン部門のシニアキュレーター。展覧会のキュレーション、執筆、講演会など世界中で活躍。カリフォルニア大学ロサンゼルス校、ハーバード大学院デザイン科、ニューヨークのデザインスクール「MFA Products of Design」で教鞭をとる。デザインが世界に好影響を与えることが普遍的な理解として浸透することを目的に活動。デザインや建築、科学技術の領域も含め日々の生活の中でデザインが与える影響を調査している。現在は、第22回トリエンナーレ・ディ・ミラノ\* (the XXII Triennale di Milano)の準備に取り組んでいる。直近の著書に、デザインとしての価値を持つ食品について書いた「Design Bites」、コンテンツポラリーデザインの異なる分野についてまとめた自身のエッセイ集がある。



#### バーギット・ローマン (Birgit Lohmann) / デザインブーム編集長

工業デザインをフィレンツェで学び、1987年よりミラノを拠点に活動。イタリアを代表する建築家やデザイナーと共にデザイン、製品開発を行う。イタリア司法省や国際的なオークションハウスで働くと共に、世界中の著名大学で工業デザインの講演を行っている。1999年にdesignboomを共同創設し、現在は編集長、教育プログラム代表、エキシビションキュレーターとして活動。



#### アリス・ローソーン (Alice Rawsthorn) / デザイン評論家

ニューヨーク・タイムズで長年執筆を続けるデザイン評論家。毎週発信のデザイン・コラムは世界中のメディアで掲載。TEDや世界経済フォーラムなどの世界的なイベントでデザインについて講演を行う。ロンドンを拠点に活動しホワイト・チャペル・ギャラリー、マイケル・クラーク舞踊団の主任評議員、チャイセンハール・ギャラリーの主任評議員を務める。近著はデザインが私達の生活に与える影響についての“Hello World: Where Design Meets Life”(ハーミッシュ・ハミルトン刊)、また、現代のデザイン概論として“Design as an Attitude”の出版を2018年5月に予定している。



### 澤 良宏 (Yoshihiro Sawa) / Lexus International President

京都工芸繊維大学意匠工芸学科卒業。1980年入社。カローラなどの小型車外形デザインを担当。米国駐在、内外装デザインを経て、異色のデザイナー出身チーフエンジニアとして、アイゴの開発を担当し、2017年4月にLexus International Presidentに就任。

#### メンター：



by Hans Neumann

### リンゼイ・アデルマン (Lindsey Adelman) / デザイナー

リンゼイ・アデルマン (Lindsey Adelman) はチューブやジョイントを組み合わせた、ユニークで美しいシャンデリアを製作するデザイナー。その作品は、世界中のデザイン誌に掲載され、人気を集めている。幼少期からものづくりに深い関心をよせており、インダストリアルデザインとの出会いがきっかけでロードアイランドスクールオブデザイン (RISD) に入学。その情熱を存分に発揮し、現在では自身の名を冠したスタジオをニューヨークとロサンゼルスにもつ。拠点とする二つのスタジオからは、光を操り、感情に訴えつつ物理的に空間に変革をもたらす照明器具が生み出されている。それぞれの歴史と意味が染み込んだ照明器具は、気取らずに周りの世界に色と、質感と、奥行きを与えている。



### フォルマファンタズマ (Formafantasma) / デザイナー

フォルマファンタズマ (Formafantasma) は、オランダ・アムステルダムに拠点を置くデザイナーのアンドレア・トリマルキ (Andrea Trimarchi) とシモーネ・ファルジン (Simone Farresin) によるデザインチーム。主にマテリアルに関する実験を行ないながら作品を制作している。

フォルマファンタズマは、伝統文化と地域文化との関係、サステナビリティへのクリティカルなアプローチ、そして文化の源泉としてのオブジェクトの重要性などを常に探求している。クラフトと産業、オブジェクトとユーザーを繋ぐことで、フォルマファンタズマは自身の実験的取り組みと幅広いデザイン産業をリンクさせ、世界中の様々な著名ブランドからのオファーを数多く受けている。彼らの作品は、国際的に高い評価を受けており、ニューヨーク近代美術館 (MoMA) やロンドンのヴィクトリア&アルバート博物館といった主要美術館のパーマネントコレクションとして所蔵されている。



### 藤本 壮介 (Sou Fujimoto) / 建築家

東京大学工学部建築学科卒業後、2000年 藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年 フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞、2015年 パリ・サクレイ・エコール・ポリテクニク・ラーニングセンター国際設計競技最優秀賞につぎ、2016年 Réinventer Paris 国際設計競技ポルトマイヨ・パーシング地区最優秀賞を受賞。主な作品に、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン 2013 (2013年)、House NA (2011年)、武蔵野美術大学図書館 (2010年)、House N (2008年) 等がある。

#### (c) David Vintiner



### ジェシカ・ウォルシュ (Jessica Walsh) / デザイナー

デザイナー、アートディレクター、及びニューヨークを拠点とするデザイン事務所サグマイスター&ウォルシュのパートナー。世界中のクリエイティブ系カンファレンスや大学でデザインに関する講演を行い、ニューヨークのスクールオブヴィジュアルアーツで教鞭を取っている。作品は、Type Director's Club、Art Director's Club、SPD、Print、New York Festivals、D&AD、TDC Tokyo、そしてGraphisなど、世界的に有名な数々のデザイン賞を受賞している。フォーブス誌より「未来をデザインするトップクリエイター30アンダー30」に、アドエイジ誌より「ビジュアルクリエイターTop 10」に選出。作品は、多数の本や雑誌に掲

載。クライアントに、ニューヨーク近代美術館 (MoMA)、ユダヤ博物館、Jay-Z、スナップチャット、バーニーズ、ニューヨーク・タイムズ、Levis、Adobe などを持つ。本として出版されたブログ「40 Days of Dating」は、1,000 万人以上の読者を集め、現在ワーナー・ブラザーズが映画化に着手している。

\* : 3年に1度開催されるデザイン、ファッション、建築などを題材とした国際博覧会